



ききょう便り

令和4年 夏号 (第70号)



職員宿舎の前でベトナムの野菜を育てています

「就任のご挨拶」

理事 大島 一克



皆様こんにちは、3月1日より理事としてお世話になっております大島一克（かずよし）です。どうぞよろしくお願い致します。

過日、前理事長の小林博様より2月いっぱい、職を辞するので後任として理事に就いて欲しいとお話がありました。高齢者介護や福祉に関しては専門外の自分では、「何で自分」がと一度は断ったのですが、母親が生前中、ききょうの里の皆様には心温まる介護を頂きまして、無事見送ることが出来ました事などを考えお引き受けすることに至りました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっていて、先行き不透明な不安感があつたり、行動に制限が掛かったりしていますが、ワクチン接種などの対策が充実することを望んでいます。

私の趣味の1つに野球があります。その野球もコロナ禍で試合や練習が制限されていましたが最近やっと改善されつつあります。50代になって始めた野球ですが、毎回楽しんで活動しています。60才以上の選手が対象の還暦野球では、佐伯常務理事と同じチームで二遊間を組んでいることもあり、良い相談相手となっています。野球はチームワークがとても大切です。ききょうの里の皆様もチームワークを大切にして、日々ご活躍いただきたいと思っています。

私も、理事をお引き受けした以上は、少しでも桔梗会のお役に立てるよう務めていきたいと思っています。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう

ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルパーステーション

〒378-0002
群馬県沼田市横塚町957番地2
TEL 0278-23-8831
FAX 0278-23-8832

〒378-0061
群馬県沼田市岡谷町687番地
TEL 0278-23-8861
FAX 0278-23-8852

発行責任者 堤 佳史

ききょうデイサービスセンター 年間行事紹介

ききょうデイサービスセンターでは、年間を通して様々な行事を行っています。職員全員で考えて利用者様が楽しめたり、季節を感じられたりする行事を催しています。

4月  **お花見
開所記念**



5月  **俳句会**



6月  **球技大会**



7月  **七夕**



8月  **夏祭り**



9月  **ぶどう祭り**



10月  **運動会**




11月  **作品展**



12月  **クリスマス会
餅つき**



1月  **まゆ玉作り
新年会**



2月  **お楽しみ会**



3月  **ひな祭り
思い出アルバム**



楽しい行事の他にもおやつ作り、運動、リハビリなどもやっています。会話を楽しみに来られる方もいたり、張り切って運動に専念している方もいます。それぞれの利用者様に合わせたサービスを提供しています。

厨房から笑顔をお届け②



【ハヤシライス】

↑ じっくり炒めて野菜の甘味を引き出し、赤ワインとコンソメで煮込んだ後、デミグラスソースで仕上げた一品。奥行き深い味わいがたまらない。



【鶏肉のスパイス揚げ】

前回に引き続き厨房さんにおじゃましています。ききょうの里で提供している食事について、今回も掘り下げてみたいと思います。

「老人ホームの調理の特徴について簡単に教えてくださいか？」

『はい、一般の料理屋さんではお客さんから注文を受けて調理を開始しますが、施設ではあらかじめ献立は決まっております、ある程度の人分をまとめて調理するのが特徴ですね。』

「献立はどなたが立てるんですか？」

『献立は栄養士さんが居て、一日の栄養を考えて立てています。』

「栄養に配慮した健康的な食事が食べられるのは嬉しいですね。でも毎日の献立を作成するのも大変なお仕事ですね？」

『大変だと思います。繰り返しの献立ではマンネリ化してしまいますので、新しい試みを常に意識して取り組まなければなりません。』

「なるほど、そういう意味では前回ご紹介して頂いた料理もそうでしたが、ききょうの里の料理は個性的でとても美味しそうですね。栄養士さんが頑張っている証ですね。」

『ありがとうございます。ききょうの里の献立はベテランの栄養士さんが担当しておりますから。あと、私の考えた献立をお願いして入れてもらう事もあります。』

「それでは、調理職員さんのお仕事についてお聞かせ下さい。先程のお話では献立は栄養士さんが立てるので、調理職員さんはそのレシピに従って調理するという事になりますよね？」

『概ね、そうなりますね。ただレシピ通りに調理しても実は上手くないかないという事もあります。』

「それはどういう事ですか？」

『一言で言えば、その都度料理の条件が違うからということですね。例えば大根1つにしても季節や産地によって硬さやみずみずしさ、甘味や辛味が異なってくる為、火を通す時間が変わってきたりして、同じ分量の調味料を入れても仕上がりが異なってくるわけです。』

「なるほど…そうなんですね。」

『これは自分の理屈ですが、調理するという事は異なる条件でもそれを調整して、美味しく仕上げると言う意味だと思っています。ただレシピ通りに作るだけでいいのなら、とても退屈な仕事になってしまいます。東京オリンピックの調理を任された偉大な料理人は、選手達からの料理の反応に悩んでいたそうです。美味しいことは美味しいんだけど、今一つであると。その料理人は気づきました。真

← カレー粉やバジルで味付けし、片栗粉と上新粉の衣でサクサクの仕上がりに。付け合わせにスパゲティーを使用した新しい試み。味も◎

夏のこの時期に、選手達は毎日大量の汗をかいていた事を。以来、いつもより濃い目の味付けに変えた所、選手達から喝采の評価を受けたそうです。食べる人の事を想って作る事が出来る。これが良い料理人の条件ですね。』

☆ この職について ☆

第1施設介護係 係長 高井 晴代

ききょうの里に介護職員として入職し、もうすぐ20年になります。思い起こせば23年前に、老人福祉施設に勤めていた私の姉から「ヘルパーの資格を持っておくといいよ!」と言われ、ヘルパーの資格を取る講習会に参加しました。当時は人気がある講習会に参加する人数も多く講習を受けるのも順番待ちでしたので、現在のような介護職員不足に陥るなんて夢にも思いませんでした。

資格を取ると働いてみたくなり、ききょうの里に入職...今振り返るとあっという間の20年でした。ヘルパー資格で働き出しましたが、様々な研修や勉強会に参加させていただき、介護福祉士も取得する事ができ、やりがいを持って働く事が出来たと思います。

この20年間で福祉の制度は色々変わりましたが、ただ変わらないのは「利用者様の思いを知る・利用者様に寄り添う事が大切!」という事だと思います。願いや希望を上手く伝えられない利用者様の思いを知るという事はやはり難しく、20年勤めてきてもまだまだ勉強不足な事が沢山あります。でも私は、これからも利用者様が安心して生活出来るよう、少しでも力になりたいと思っています。

☆ 熱中症は予防が大切 ☆

看護職員 大山 昌子

この時季に多く見られる熱中症は命に関わる病気とされていますが、予防法を知っていれば防ぐことが出来ます。暑さを避ける・こまめな水分補給が大切です。のどが渴いていなくても水分補給をしましょう。

一方で、新型コロナウイルスの感染を防ぐために、エアコン使用中でもこまめな換気をしたり、適切なマスクの使用といった「コロナ感染防止」を実践することも求められています。マスクが汗で湿ると通気性も悪くなるので適度に取り替える事も必要です。

熱中症にかかる人のおよそ半数以上が高齢者だと言われています。高齢者が熱中症にかかりやすい理由は、体温調整機能の低下しているところや体の水分量が少ないことがあげられます。体の水分量が少ないと汗をあまりかかなくても熱中症にかかりやすく重症化しやすくなります。

また、高齢者は屋内での熱中症にも注意が必要です。その為、職員が気を配らなくてはなりません。毎日の検温と冷房時でも窓開放や換気扇によって換気を行ったり、こまめな水分補給をしていくことが大変重要です。

これからも利用者様と職員の健康管理に注意をし、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえながら熱中症予防にも気を付けていこうと思います。



☆ ご面会について ☆

3月28日(月)から窓越し面会を再開させて頂いています。希望される方は、電話等により事前にご予約をお願いします。

日時は月曜日～金曜日(10:00～12:00及び13:00～16:00、祭日は除く)までとさせていただきます。又、面会時間は1回5分程度とし面会の頻度は利用者様1人当たり2週間に1回程度でお願いします。

ご面会を希望するご家族が複数いる場合はご家族間で調整をお願いします。

☆ 編集後記 ☆

梅雨が明けたと思ったらまた梅雨が来て...新型コロナウイルス感染症も下火になったと思ったらまた流行し、残念なニュースばかりで始まったこの夏。そして新型コロナウイルス感染症が発生して3回目の夏がやってきました。マスク着用についての見直しもあり、熱中症予防をしながら感染対策をしなければなりません。施設内では、利用者様と60歳以上の方の4回目ワクチン接種が終了しました。外出は出来ませんが施設内で夏の思い出作りが出来ればと思っています。

今後も制限された面会等で、ご不便をお掛けしますが、どうぞご了承下さい。

総務課 高橋 由香里

